



公益社団法人 兵庫工業会
会 長 宮脇 新也

兵庫工業会 NEWS

2019年6月号 No.290

発行／公益社団法人 兵庫工業会

兵庫工業会 会長就任 挨拶

■ 巻頭言 ■

令和を迎え最初の通常総会にて、兵庫工業会の会長に推挙され、就任することになりました。身に余る光栄に存じますとともに、責任の重さを痛感いたしております。

私は、1980年に(株)神戸製鋼所に入社し、主に神戸製鉄所の条鋼圧延の技術部門の品質管理に従事してまいりました。その後、2015年からは神鋼グループ会社で総合試験研究メーカーである(株)コベルコ科研に社長として4年間勤務いたしました。工業会の400社を超える会員会社の多くの業界には不案内で、大きな不安を抱えています。皆様方のご支援、ご協力を得て、微力ながら工業会の発展に尽くしたいと決意しております。

兵庫工業会は1985年7月に地域産業の振興と地域社会の発展ならびに産業技術に関する人材の育成・指導などを目的に設立されました。

現下の経済情勢は、戦後最長の景気回復とは言われていますが、5月に入ってから米中貿易摩擦の影響による株価の下落等先行き不透明な経済情勢の中、まだまだ中小企業にとっての状況は厳しいものです。特に、人手不足が進む中で、自動化の一層の推進、AI・IoTの導入、外国人労働者の受入れ等が一段と進み、働き方改革法案施行に対応するための労働時間の抑制、10月に予定されている消費税率アップ等、ものづくり企業にも、時代に適応した大きな変化が求められています。

兵庫工業会では、山口（元）会長、池田（元）会長、大西（前）会長と3代に渡って継続されてきました基本方針であります「ともに拓く工業会」を、今年度から、新たに「変化に挑戦 輝く未来へ」と変更いたしました。中小企業のがんばりがなければ我が国のものづくりはこの先立ち行かなくなる可能性が大いにあります。そのため、県下の中小企業各社のご意見を工業会運営に取り入れ、中小企業と大企業、行政・学界と産業界が連携して、この先の大きな変化に対応できるような企業になっていただくことをご支援する事業展開を進めていきたいと思っております。そのために、皆様からの積極的なご提案を出していただき、「変化に挑戦 輝く未来へ」の基本方針の実現に、どうか皆様の格別のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。

2019年度第1回理事会(書面表決)及び 第60回通常総会・会長就任披露パーティーを開催

2019年5月14日(火) 第1回理事会(書面表決)にて、以下の議案について67名の理事及び3名の監事の全員に賛成表決をいただきました。これにより、審議案件は、原案通り全て承認されました。

〈議案〉

- 第1号議案 平成30年度事業報告について
- 第2号議案 平成30年度収支決算について
- 第3号議案 役員の改選について
- 第4号議案 会員の入会について

第60回通常総会は5月28日(火)に正会員のうち335会員(委任状を含む)の出席のもと、神戸ポートピアホテルにて開催。大西功一会長の開会挨拶に続き、井戸敏三兵庫県知事に来賓ご挨拶をいただきました。

引き続き、大西会長が議長となり、以下の議案について審議が行われました。その結果、全ての議案が原案通り承認されました。

〈議案〉

- 第1号議案 平成30年度事業報告について
- 第2号議案 平成30年度収支決算について
- 第3号議案 役員の選任について

退任役員の紹介

長年にわたり、ご指導ご鞭撻いただきまして、ありがとうございました。

会 長	大 西 功 一	(株)神戸製鋼所
副 会 長	馬 場 宏 之	住友ゴム工業(株)
理 事	川 旗 邦 彦	(株)旭工業所
〃	西 脇 剛 史	(株)アシックス
〃	富 山 明 男	神戸大学大学院
〃	瀧 川 勝 吾	滝川工業(株)
〃	浅 井 昌 信	ヒガシマル醤油(株)
〃	小 川 賢 一	(株)三井住友銀行
〃	戎 井 昭 彦	三菱重工業(株) 神戸造船所
〃	中 西 恭 吏	三菱電機(株) 神戸製作所
〃	下土井 康 晴	明興産業(株)



井戸知事来賓ご挨拶



大西会長挨拶



退任される大西会長・馬場副会長

通常総会の途中の臨時理事会では、会長に宮脇新也氏を新任、副会長に村元四郎氏、金井宏彰氏、竹田佑一氏を再任、神門登氏を新任、専務理事に宮本要氏、常務理事に荒木俊光氏を再任いたしました。

これらを通常総会出席者全員に報告し、満場の拍手をうけ、宮脇新会長の一期目のスタートとなりました。その後、第60回通常総会は滞りなく終了いたしました。

会 長	宮 脇 新 也	(株)神戸製鋼所	顧問	新任
副 会 長	村 元 四 郎	(株)村元工作所	特別顧問	再任
〃	金 井 宏 彰	金井重要工業(株)	代表取締役社長	再任
〃	竹 田 佑 一	まねき食品(株)	取締役会長	再任
〃	神 門 登	ハニー化成(株)	専務取締役	新任
専 務 理 事	宮 本 要	公益社団法人 兵庫工業会	専務理事	再任
常 務 理 事	荒 木 俊 光	公益社団法人 兵庫工業会	常務理事	再任
事 務 局 長			事務局長	再任
理 事	58名			
監 事	3名			
(役員名簿は6、7頁に掲載)				

◆通常総会終了後、引き続き新会長就任披露パーティーを開催。宮脇新会長の挨拶で開会し、来賓を代表して家次恒神戸商工会議所会頭が祝辞を述べられ、引き続き乾杯発声で開宴いたしました。

その後、ご参集いただきました来賓や会員の皆様が新任役員等を囲みながら和やかに歓談されていました。最後は、村元四郎副会長が中締め挨拶を述べ、新会長就任パーティーは、大盛況のうちに幕を閉じました。



会長・副会長の紹介



宮脇新会長挨拶



家次会頭のご挨拶



村元副会長の中締め挨拶

新 会 長 紹 介



宮 脇 新 也
会 長

株式会社神戸製鋼所
顧問

新 副 会 長 紹 介



神 門 登
副会長

ハニー化成株式会社
専務取締役

新 役 員 紹 介



千 田 伸 二
理 事

株式会社アシックス
取締役



大 村 直 人
理 事

神戸大学大学院
工学研究科長

新 役 員 紹 介



三 浦 洋 一
理 事
大和ハウス工業株式会社
神戸支社長



瀧 川 松 平
理 事
滝川工業株式会社
代表取締役副社長



河 上 哲 也
理 事
株式会社三井住友銀行
公共・金融法人部（神戸） 部長



清 水 稔
理 事
三菱重工業株式会社 神戸造船所
所長代理



高 石 圭 吾
理 事
三菱電機株式会社 神戸製作所
総務部長



下土井 健 城
理 事
明興産業株式会社
代表取締役社長

公益社団法人 兵庫工業会 役員名簿

2019年5月28日現在

役職名	氏 名	会 社 名	役 職
会 長	宮 脇 新 也	株 式 会 社 神 戸 製 鋼 所	(顧 問)
副 会 長	村 元 四 郎	株 式 会 社 村 元 工 作 所	(特 別 顧 問)
〃	金 井 宏 彰	金 井 重 要 工 業 株 式 会 社	(代 表 取 締 役 社 長)
〃	竹 田 佑 一	ま ね き 食 品 株 式 会 社	(取 締 役 会 長)
〃	神 門 登	ハ ニ ー 化 成 株 式 会 社	(専 務 取 締 役)
専 務 理 事	宮 本 要	公 益 社 団 法 人 兵 庫 工 業 会	(専 務 理 事)
常 務 理 事	荒 木 俊 光	公 益 社 団 法 人 兵 庫 工 業 会	(常 務 理 事 事 務 局 長)
理 事	小 澤 重 雄	株 式 会 社 I H I 相 生 事 業 所	(相 生 事 業 所 長)
〃	森 田 文 藏	青 木 鉄 工 株 式 会 社	(取 締 役 会 長)
〃	千 田 伸 二	株 式 会 社 ア シ ッ ク ス	(取 締 役)
〃	阿 比 野 剛	阿 比 野 建 設 株 式 会 社	(代 表 取 締 役 社 長)
〃	井 上 美 智 代	株 式 会 社 井 上 鉄 工 所	(代 表 取 締 役 専 務)
〃	大 庫 良 一	オ ー ク ラ 輸 送 機 株 式 会 社	(代 表 取 締 役 社 長)
〃	井 上 佳 昭	大 阪 ガ ス 株 式 会 社	(執 行 役 員 兵 庫 ・ 姫 路 統 括 地 区 支 配 人 兼 兵 庫 地 区 支 配 人)
〃	大 島 孝 一 郎	大 島 金 属 工 業 株 式 会 社	(代 表 取 締 役)
〃	苗 村 康 夫	株 式 会 社 岡 崎 製 作 所	(取 締 役 管 理 本 部 長)
〃	岡 田 保	株 式 会 社 岡 田 金 属 工 業 所	(代 表 取 締 役 社 長)
〃	岡 村 武 和	株 式 会 社 O K A M U R A	(代 表 取 締 役 社 長)
〃	吉 田 修	音 羽 電 機 工 業 株 式 会 社	(代 表 取 締 役 社 長)
〃	陰 山 聡	陰 山 電 機 株 式 会 社	(代 表 取 締 役 社 長)
〃	高 橋 勝 彦	カ ル モ 鋳 工 株 式 会 社	(常 任 顧 問)
〃	中 村 啓	川 崎 重 工 業 株 式 会 社	(総 務 本 部 総 務 部 長)
〃	久 木 元 悦 子	株 式 会 社 関 西 工 事	(代 表 取 締 役)
〃	松 本 眞 一	関 西 電 力 株 式 会 社 兵 庫 支 社	(理 事 兵 庫 支 社 長)
〃	頃 安 雅 樹	極 東 産 機 株 式 会 社	(代 表 取 締 役 社 長)
〃	畠 田 眞 一	旭 光 電 機 株 式 会 社	(代 表 取 締 役 社 長)
〃	小 谷 要	グ ロ ー リ ー 株 式 会 社	(取 締 役 専 務 執 行 役 員)
〃	上 月 靖 史	上 月 ウ デ ィ ッ ク ス 株 式 会 社	(代 表 取 締 役)
〃	大 久 保 安	株 式 会 社 神 戸 製 鋼 所	(常 務 執 行 役 員)
〃	大 村 直 人	神 戸 大 学 大 学 院	(工 学 研 究 科 長)
〃	下 村 俊 子	株 式 会 社 神 戸 風 月 堂	(取 締 役 名 誉 会 長)
〃	今 北 毅	株 式 会 社 コ ベ ル コ 科 研	(常 務 取 締 役)
〃	黒 田 直 樹	三 相 電 機 株 式 会 社	(代 表 取 締 役 社 長)

役職名	氏 名	会 社 名	役 職
理 事	山 本 純 三	シスメックス株式会社	(取締役 常務執行役員)
	清水 泰 人	株式会社シミズテック	(代 表 取 締 役 社 長)
	眞 下 忠	神 港 精 機 株 式 会 社	(代 表 取 締 役 社 長)
	井 上 直 也	新 光 電 機 株 式 会 社	(代 表 取 締 役 社 長)
	小 松 俊 彦	住友ゴム工業株式会社	(執行役員 人事総務部長)
	番 所 利 行	株式会社洲本整備機製作所	(代 表 取 締 役 社 長)
	石 田 和 史	株 式 会 社 誠 工 社	(代 表 取 締 役 会 長)
	中 川 啓 之	第 一 熱 研 株 式 会 社	(代 表 取 締 役 社 長)
	近 藤 輝	大 王 電 機 株 式 会 社	(代 表 取 締 役 社 長)
	三 浦 洋 一	大和ハウス工業株式会社	(神 戸 支 社 長)
	瀧 川 松 平	滝 川 工 業 株 式 会 社	(代表取締役副社長)
	高 馬 勇	株 式 会 社 タ ク ミ ナ	(顧 問)
	上 村 勝 敏	株 式 会 社 ト ー ホ ー	(代 表 取 締 役 社 長)
	中 川 裕 子	日本ライニング工業株式会社	(代 表 取 締 役 社 長)
	安 藤 隆	株 式 会 社 布 引 製 作 所	(代 表 取 締 役 社 長)
	永 井 英 雄	白 鶴 酒 造 株 式 会 社	(執行役員 生産本部 副本部長)
	豊 嶋 義 富	菱 井 商 事 株 式 会 社	(代 表 取 締 役 社 長)
	黒 田 次 郎	姫 路 信 用 金 庫	(専 務 理 事)
	深 田 修 司	兵庫県中小企業団体中央会	(専 務 理 事)
	太 田 勲	兵 庫 県 立 大 学	(学 長 兼 副 理 事 長)
	阿 倉 和 哉	株式会社兵庫精密工業所	(代 表 取 締 役 社 長)
	宮 内 康 伴	福 伸 電 機 株 式 会 社	(代 表 取 締 役 社 長)
	矮 松 一 磨	古 野 電 気 株 式 会 社	(取締役 営業企画部長)
	降 矢 寿 民	フルヤ工業株式会社	(代 表 取 締 役 社 長)
	友 藤 公 雄	兵神機械工業株式会社	(取 締 役 社 長)
	河 上 哲 也	株式会社三井住友銀行	(公共・金融法人部(神戸) 部長)
	三 津 千久磨	ミ ッ 精 機 株 式 会 社	(代 表 取 締 役 社 長)
	清 水 稔	三菱重工業株式会社 神戸造船所	(所 長 代 理)
	高 石 圭 悟	三菱電機株式会社 神戸製作所	(総 務 部 長)
	倉 本 信 二	三ツ星ベルト株式会社	(執行役員 人事部 部長)
	宮 脇 隆一郎	宮脇機械プラント株式会社	(取 締 役 会 長)
	下土井 健 城	明 興 産 業 株 式 会 社	(代 表 取 締 役 社 長)
監 事	福 田 孝	株 式 会 社 福 田 博 商 店	(代 表 取 締 役 社 長)
	藤 嶋 純 子	株式会社フジ・データ・システム	(代 表 取 締 役)
	山 本 博 和	株式会社山本電機製作所	(代 表 取 締 役 社 長)

兵庫工業会

第6回産業論文コンクール

最優秀賞
論文

論題「誇りを持てる企業人」

株式会社広築 笠 翔太



少子化が社会問題として取りざたされている昨今において、より良い人材を確保することは日本企業における大きな課題となっている。中でも建設業や運輸業においては、他業種に比べ3倍程度求人倍率が高くなっており[1]、非常に憂慮すべき問題である。私は新入社員として、本年度よりこの建設業に携わることになった。そして、入社より6ヶ月の新入社員研修を通して、私たちの業界が人材難となっている理由の一つに「建設業の現場労働者に対する理解の不足」があるのではないかと感じた。

本稿では、建設業を支えている現場労働者を取り巻く環境から、建設業の抱える人材不足問題について考察する。

1. 変化する労働環境

「何回同じことを言わせるんや!」

新入社員研修の一環として現場研修へ行った初日、真っ先に現場の職人から聞いた言葉である。職人に怒られているのはフィリピン人の作業員だった。日本語がうまく通じずいら立つ日本人職人と、日本語がわからずあたふたする外国人作業員を見て、私はこれが建設業界における職人の世界の現実なのだと知った。

国土交通省調べ[2]によると、建設分野における外国人材の受け入れ数は2011年の約1万3千人から2017年の5万5千人とおよそ4倍にも増加している。これは他業種と比較しても、非常に大きな増加である。東京オリンピックやアベノミクスによる公共事業の増加、東日本大震災からの復興需要などに伴う人手不足も鑑みると、建設業における外国人材の受け入れはこれからも増加し続けるだろう。このような背景のなか、日本の職人が外国人労働者の受け入れをすることは半ば当然のことであり、その波が我が社の携わる、工業炉業界にも押し寄せていた。

短期的に見れば外国人材の受け入れは効果を発揮するかもしれない。実際、2018年11月2日の閣議後会見において茂木経済再生相は外国人受け入れを拡大する入管難民法案などを閣議決定したことに対し、「潜在成長率の引き上げに効果がある」との認識を示している[3]。

ただ、私が現場を見て感じたことは、外国人材の受け入れを進めることで、必要以上に日本人の職人に負担がかり、ただでさえ不足している職人がより減少してしまうのではないかと漠然とした不安であった。

2. 3Kのイメージ

建設業界では、外国人材が増加しているのに対し、若者離れが深刻である。建設業の新規学卒者の入職者数の割合は、1995年の7万8千人をピークに減少し、2015年には4万1千人となっている[4]。

私が勤務している株式会社広築は、鉄やアルミを加工、製造する過程で必要な工業炉を製作している。私の会社においても現在、築炉の際に必要な、煉瓦積み職人の減少に頭を悩ませている。

若者に建設業界が人気のない理由としては3K（きつい・汚い・危険）と言われる職場環境や社会保険の未加入問題などに対する不安などが挙げられる。実際、現場研修で行ったキャストブル耐火物の流し込み作業は、粉塵が多く発生する汚い環境での作業であったし、時には危険な高所作業や重いものを持ち運ぶことが必要な時もあった。

ただ、私はこれらの作業を行ってもあまり苦に感じることはなかった。なぜなら、粉塵が発生する場所では防塵マスクをつけており、高所作業では安全帯を使用し、重いものはフォークリフトやハンドリフトを使って運ぶことが出来たからだ。適切な安全保護具を着用し、適切な道具を用いればどのような作業においても問題はなかった。

この気づきのなかで、研修中に問題を感じたことは、職人によって持っている安全保護具にばらつきがあることである。例えば、高所作業時の命綱となる安全帯には胴ベルト型とハーネス型があり、ハーネス型のものは肩や足など

を支持するベルトがある全身タイプとなっている。私には会社から支給されたハーネス型の安全帯があったため、使用することが出来ていたが、現場全体でみればハーネス型の安全帯を使用している人は全体の2割にも満たなかった。なぜハーネス型にしないのか一人の職人に聞いたところ、胴ベルト型よりも高価なため買うことがためらわれるとのことだった。実際、建設業協会のアンケートでは、ハーネス型の安全帯の購入負担について、「すべて会社負担である」と答えた企業は全体の5割にも満たない[5]。厚生労働省のガイドラインに従い、2019年から安全帯（墜落制止用器具に名称変更）はフルハーネス型が原則となることから、これから徐々にハーネス型の安全帯は普及していくだろう。しかし、「使用が禁止されるから買わなければならない」といった理由ではなく、もっと自発的に職人が安全保護具を購入できるように、新しい仕組みをつくるべきではないだろうか。現実問題として、今も腰ベルトのみの安全帯で作業している職人が未だ多くいることは明らかである。

こうした環境のひとつひとつが積み重なり、現在の建設業界に対する3Kのイメージが定着してしまったのではないかと感じた。

3. 業界への偏見

現場では改善しなければならない部分もあるが、社会的に偏見とみられる部分も多い。実際に、建設業界の死亡事故は1960年代から現在にかけて70%以上減少している。これは、安全の重要性が現場でいつでも説かれているためだ。朝礼ではKY活動（危険予知）を行い全員に危険な作業を周知させる。危険な事故が起こった際にはヒヤリ・ハットと呼ばれる報告書を全社に回覧し、再発防止のために活用する。安全パトロールを実施し、危険作業があった場合はそれを指摘するなどである。これらを行っている職人一人ひとりの安全意識が低いということは決してない。このような職人の良い環境の変化の側面をもう少し世間に発信すれば、今の建設業界に持たれているイメージが少しずつでも改善するのではないだろうか。実際に、現場見学会の実施や建設業をテーマとしたイベントの実施などを行い、現在の建設業界を知ってもらおうとする活動は行われている。しかし、活動の規模が小さく、まだまだイメージ改善への道のりは長そうに思える。

私が建設業界に携わろうと思ったきっかけは、複雑に伸びる工業炉や工場の配管が非常にかっこよく思えたからである。電車が好きな人が電車に関連する仕事に携わるように、私のように工場や現場の設備や機械に憧れるものは必ずいると思う。ただ、これまでの日常を考えると工場や建設現場へ足を踏み入れたことは今までに一度もなかった。建設現場で働く環境がかっこいいものだというイメージを抱く環境がそもそもないということだ。こうした問題の解決のためには、建設現場見学会など、今の建設業界がどのようになっているのかを公開する機会を積極的に増やしていく必要があると思われる。

4. 未来へつなげる環境づくり

建設業は人々の生活になくてはならないものである。大きな建造物をつくることは非常に魅力があり、やりがいの感じられる仕事だと思う。私自身、初めて手伝った現場で作られたごみの焼却炉が実際に試運転されているのを見たとき、新人ながら誇らしさを感じた。一緒に作業をしていた職人も、自分の携わったものが実際に稼働しているところを見ることが非常に嬉しく、仕事に対するモチベーションになると言っていた。

このような実りある仕事で、悪いイメージによって人氣が衰えていることは非常にもったいないことである。建設現場がどうなっているのか、社会に対するアピールの機会は今後も是非とも増やしていくべきだと思う。

また、安全はこれからも建設業界についてまわる非常に重要な課題となるだろう。建設業労働者の安全に対する意識の向上をこれからも追及するとともに、今後も増えていく海外人材の安全をどのようにして保障するのかについて考える必要があると考える。より良い安全を追及する活動は最終的に業界に対するイメージの改善にもつながると思うからである。

私自身まだまだ未熟であるが、建設業界に携わる者の一端として、労働環境の改善やイメージの向上に努めていきたい。建設業がより誇りの持てる業界であると示せるように全力を尽くしたいと思う。

〈参考文献〉

- [1]「産業、規模別新規求人数（パートタイムを除く）」 厚生労働省（2016年12月）
- [2]「建設分野における外国人材の受け入れについて」 国土交通省（2018年6月）
- [3]「再生相「日本の経済成長に効果」外国人労働者拡大で」 共同通信社（2018年11月）
- [4]「建設労働者を取り巻く状況について」 厚生労働省
- [5]「建設現場の安全帯（ハーネス型安全帯）の使用状況等に関する実態調査結果について」 一般社団法人全国建設業協会（2017年1月）

第6回産業論文コンクール入賞者一覧

◆最優秀賞◆

(株)広築 笠 翔太さん

◆優秀賞◆

(株)セラオン 黒瀬 篤志さん

(株)広築 江草 麗子さん

◆努力賞◆

アユミ工業(株) 三方 邑斗さん

(株)タクミナ 池澤 直人さん

◆特別賞◆

フルヤ工業(株) ホーヴォコンクアンさん



<後列>

黒瀬 篤志 江草 麗子 三方 邑斗 池澤 直人 ホーヴォコンクアン

<前列>

宮脇副委員長 大西会長 笠 翔太 金井副会長 降矢副委員長
(敬称略)

平成31年度 創意工夫功労者賞伝達式

4月17日(水) 兵庫県民会館において、平成31年度科学技術分野の文部科学大臣表彰「創意工夫功労者賞」伝達式が行われ、下記の方々が受賞されました。

オークラ輸送機(株) 三木工場	花房 健一
川崎重工業(株) 船舶海洋カンパニー	太刀掛 克彦
キャピラー・ジャパン(同) 明石事業所	福井 利充
グローリープロダクツ(株) 市川工場	塩見 とよみ
佐藤精機(株) 本社工場	宮下 拓志
山陽特殊製鋼(株)	幡谷 毅彦
通菱テクニカ(株) 基板製造部	光村 佑輔
日本製鉄(株) 技術開発本部	小川 翔、松延 慎吾
(株)二川工業製作所 尾上工場	佐野木 隆博
三菱日立パワーシステムズ(株) 高砂工場	壽賀 匡宏、丸喜 文太、神子島 悠介、香山 和英

以上14名 敬称略

表彰された皆様は前年度「職域における創意工夫者表彰」知事賞受賞者の中から特に優秀な方々を兵庫県が推薦し、このたび受賞の運びとなりました。おめでとうございます。

2019年度 産業・技術振興事業 海外視察研修 北欧視察(デンマーク・スウェーデン)のご報告

実施日 2019年5月12日(日)～18日(土) 5泊7日

スケジュール

12日(日)	9:15	関西国際空港 集合・出国手続き 10:45 (AY-78) 便に搭乗	コペンハーゲン泊
	15:40	ヘルシンキでAY-955便に乗り継ぎコペンハーゲンへ	
	16:20	コペンハーゲン着	
	17:30	ホテル着 (HOTEL COPENHAGEN ISLAND)	
	19:00	ホテル内で夕食	
13日(月)	8:30	ホテル出発	コペンハーゲン泊
	10:00	企業視察: バイオハックス社	
	12:30	ヘルシングボリ市内レストランで昼食	
	15:00	コペンハーゲン市内視察	
	17:00	DANSK ARKITEKTUR CENTER 視察	
	19:30	コペンハーゲン市内レストランで夕食	
14日(火)	21:30	ホテル着	ストックホルム泊
	9:30	ホテル出発	
	11:45	空路 スtockホルムへ (SK1420便)	
	12:55	ストックホルム着 空港にて昼食	
	14:00	ストックホルム市内視察 (ガムラストン) ノーベル博物館・宮殿	
	18:00	ホテル着 (CLARION HOTEL AMARANTEN)	
15日(水)	19:30	ストックホルム市内で夕食	ストックホルム泊
	21:30	ホテル着	
	7:30	ホテル出発 途中、ウプサラ大学図書館視察 (ウプサラ大学は北欧最古の大学)	
	10:00	企業視察: サンドビック社ジモ工場 (ジモ博物館見学) 午前: インサート工場/午後: 工具製作工場 (従業員食堂で昼食)	
	15:00	サンドビック社 ジモ工場出発	
	16:50	世界遺産 ドロットニングホルム宮殿視察	
16日(木)	18:00	ホテル着	ストックホルム泊
	19:30	ストックホルム市内で夕食	
	21:30	ホテル着	
	6:45	ホテル出発	
	11:00	途中、ヨンショーピング市内で昼食	
17日(金)	13:00	企業視察: ギレンスヴァンス・モブラー社	機内泊
	15:00	工場出発 途中、ニューヒェーピング市内で夕食	
	23:00	ホテル着	
	8:30	ホテル出発	
	8:50	ノーベル賞表彰式コンサートホール視察	
18日(土)	9:00	ストックホルム市庁舎視察 (10:20空港へ→11:00着)	
	12:55	ストックホルム発 (AY-808便) → (14:55 ヘルシンキ着)	
	17:20	ヘルシンキ発 (AY-77便) 帰国の途へ	
18日(土)	8:30	関西国際空港着 解散	

団員名簿

(順不同 敬称略)

	企業名	所属・役職	氏 名		企業名	所属・役職	氏 名
1	(株)神戸製鋼所	顧問	大西 功一	11	日清テクノス(株)	代表取締役社長	露口 浩
2	金井重要工業(株)	代表取締役社長	金井 宏彰	12	日清特殊金属(株)	相談役	越智 勇人
3	阿比野建設(株)	代表取締役社長	阿比野 剛	13	日本ライニング工業(株)	代表取締役社長	中川 裕子
4	(株)井上鉄工所	代表取締役専務	井上美智代	14	(株)福田博商店	代表取締役社長	福田 孝
5	三相電機(株)	相談役	黒田 宏子	15	フルヤ工業(株)	代表取締役社長	降矢 寿民
6	三和製作所(株)	代表取締役	石井 康文	16	ミツテック(株)	代表取締役社長	三津 久直
7	(株)シマブンコーポレーション	監査役	片山 敏彦	17	(株)山本電機製作所	代表取締役社長	山本 博和
8	(株)清水設計事務所	代表取締役	清水 俊純	18	(公社)兵庫工業会	事業推進部部長	渡邊 智教
9	(株)洲本整備機製作所	代表取締役	番所 利行	19	(株)近畿日本ツーリスト関西	添乗員	野勢 幸彦
10	(株)TD・K	代表取締役社長	橋本 玲子				

5月12日(日) 【1日目】

朝、関西国際空港でそれぞれチェックイン、出国審査を終えて搭乗口に集合しました。搭乗口では金井団長の挨拶の後、10:45発のフィンランド航空で一路ヘルシンキを経由してコペンハーゲンに。

昨年9月に予定していた北欧視察研修ですが、台風の影響で延期となってしまう、今回、あらためて実施することができ、参加メンバー18名で出発をしました。

ヘルシンキを経由しコペンハーゲンの空港でスーツケースを受け取り、宿泊先のホテルまでバスで約15分、初日の行程はトラブルもなく全員無事にチェックインし、この日はホテルで夕食を取り、1日の疲れを癒やしました。

5月13日(月) 【2日目】

E20号線 را走りバイオハックス社に向かいます。距離的には遠回りになりますが、フェリーを使うよりも、こちらの方が時間的に早く到着するとのことでした。

最初に日本ライニング工業(株) 中川社長にレポートをお願いいたしました。

バイオハックス社見学レポート：「スマートな生き方・スマートな社会を目指す」

日本ライニング工業株式会社 代表取締役社長 中川 裕子



バイオハックス社 ヨハンCEO

前日の5月12日、関西空港6番ゲートにて、金井団長の力強い掛け声のもと、拍手と共に北欧視察研修の幕が上がりました。さあ、北欧まで8,000キロ、7日間近未来の始まりです。

「スマートな社会を目指す、バイオハックス インターナショナル社」先に滞在のコペンハーゲンからスウェーデン第3の都市マルメへ、全長16キロのオーレソン・リンク大橋を渡り、一路バイオハックス社のある、ヘルシングボリへとバスで向かいます。ラッキーにもパスポートフリーで簡単に国境を越えることができました。

バイオハックス社はマイクロチップを皮下に埋め込み、物理的なICカードを持ち歩くことなく、同様のことができるそのチップを開発している会社です。前は靴の会社であった建物の中に入ると、ファッションビルのような自由で軽やかで自然な雰囲気に包まれた社内を通り、ヨハン・ウルテルンドCEOのお話を聴く事ができました。

私自身、話を聴く前と後ではその感覚は少し変わったのですが…

「患部消毒をして、つまんで予防接種と変わらない、一瞬にしてアナログからデジタルへ、自分が自分であることの証明で、これほど明確な物はない。勿論ためらい、不安はある。マイナスな悪いイメージもあります。皆さんなどのように利用されますか?」と問われ、いつの間にか前のめりで聴いている自分がいました。

きっかけは前職で行き詰まり、将来像が見えなくなり、色々興味のあることから消去法で最後に残ったのがマイクロチップであり、5年前にCEOの記事がAP通信社の目に留まり、一躍世界中に広まったそうです。現在のチップサイズは2mm×12mm、スウェーデン鉄道は世界で初めて、2017年5月から採用するなど、既に4,000人が利用していると言うから驚きです。日本でも医療関係の話も進んでおり、また、東京オリンピックプロジェクトメンバーにもなっています。

スウェーデンでは1990年代から技術インフラへの投資に注力しており、研究開発対GDP比は2016年時点で世界第3位の3.255%となっており、人々のデジタルに対する信頼度が高いのも背景にあります。

兵庫工業会からの多くの質問にも淡々と答えてくれるCEOの様子が印象的で、「ID・パスポートがなくても個人認証ができ、キャッシュレスで決済できる、車の鍵もいらぬ」スマートな生き方、スマートな社会を目指したいという言葉は、痛烈に胸に刺さりました。

古く画一的な考え方がまだまだ残っている日本とのギャップを考えさせられた貴重な1日となりました。



全員で記念撮影



バイオハックス社のある建物

5月14日(火) 【3日目】

今日の午前中はコペンハーゲンからストックホルムへの移動日です。今回搭乗したスカンジナビア航空の飛行機は満席。ストックホルムに到着したあと空港内のレストランで昼食を取り、専用車にて市内の施設を視察しました。

5月15日(水) 【4日目】

今日はグローバル企業のサンドビック社を見学します。途中、北欧最古のウプサラ大学に寄り、図書館を見学することができました。ウプサラ大学はノーベル賞受賞者を数多く輩出しています。

サンドビックのレポートは、(株)シマブンコーポレーション 片山監査役と(株)井上鉄工所 井上専務をお願いをいたしました。

サンドビック社 ジモ工場見学レポート：デジタル化による生産性向上が進んだ工場

◆インサート工場(午前)

株式会社シマブンコーポレーション

監査役 片山 敏彦

サンドビック社のジモ工場は、ストックホルム市内から車で2時間程北部にあるサンドビゲン(スウェーデン)の農村地域に本拠を置く企業です。

サンドビック社は、1864年に創設された世界最大の切削工具メーカーで、1950年代にジモ工場(スウェーデン)で超硬工具の生産が始まり、ガンマー・コーティングと呼ばれる刃先交換型チップを開発。以来、高水準のテクノロジーが認められ、現在では切削工具、フライス工具、穴あけドリル、エンドミル、高剛性切削工具などの高生産性工具を提供している企業です。

ジモ工場は、サンドビックの中で一番大きな工場、インサート工場と機械加工工場があります。午前中は企業内容の説明とインサート工場を視察しました。

〈インサート工場〉

従業員900人、24時間体制で365日休むことなく5交替勤務で稼働しており、刃先交換型チップの製造を行っている工場です。

作業工程は、(1) パウダー作業(73種類の原料粉を混合し乾燥) (2) プレス作業(原料粉を金型によるプレス成型) (3) 焼結作業(1500℃で15時間かけて焼結を行い、製品を乾燥) (4) 研磨作業(360度全面研磨したのち洗浄) (5) 最終工程は、品質検査、フィジカル検査で構成されています。

パウダー設備はジモ(60%)とアメリカに設備があり、重量の測定、不要物の除去、研磨、次工程への移動等、最終検査まで完全自動化で24時間稼働となっています。95%が機械上部から数台の監視カメラにより全検査を行います。5%は人の目視による抜き取り検査を行われています。

工場中央に大型TVモニターがあり、モニターパネル上で工場全体の稼働状態が一度に表示、異常な部署があればランプが点灯します。また稼働状態を8時間遡って表示することができ、データを分析して問題を表示することが可能です。また、フォークリフト(AGV)も完全自動化しており稼働状況も表示できます。

ジモ工場は、ロボット、切削工具から収集したデータを、抽出・分析することで、機器の健全性、故障の予測、防止や工場の効率向上を図ることが可能な工場です。

現在では、インダストリー4.0等のデジタル化により生産性向上とコスト削減を実現し、また世界フォーラムでデジタル技術の採用と実証の成功度に基づいた調査により1000を超える会社から世界のライトハウス施設のひとつとして認められた高度な自動化が進んだ施設でした。

世界で最も進んだ施設を視察することができ、自分の見識が深まりました。



サンドビック ジモ工場 歴史博物館の前

サンドビック社 ジモ工場(工具製造工場)を見学して

◆機械加工工場(午後)

株式会社井上鉄工所

代表取締役専務 井上 美智代

サンドビック コロマント ジモ工場は、さまざまな工具・ツーリング・ソリューション及びノウハウを金属加工業界に提供する世界的大手メーカーです。

創業時から事業は高品質・高付加価値・研究開発への投資、顧客との密接な関係、輸出等。この戦略は創業以来、現在も変わらない。

この度、1951年から超硬工具の生産を始めたジモ工場を訪問する機会に恵まれました。

- ・従業員1,600名(ジモの人口2,700人)
- ・雇用形態は週40時間で24時間体制(交代制)
- ・インダストリー4.0施設認定
- ・工場内は機械にロボット付で自動化(工作機械10台を2人で担当)
- ・教育とも連携、独自で高等学校開校(能力開発・アイデア)
- ・76%リサイクル
- ・一番大事なのは人

サンドビックは長い年月をかけて、自動化を推進してきた。日本の現状は、少子高齢化で労働人口が減少傾向に進み、人手不足などの問題が深刻化している。人材採用や技術者の確保にも大きい課題となっている。自動化を取り入れることによって、作業時間の短縮、それに加え生産量を拡大するのが可能になる。

確かに、AI・IoTは決められたプロセスを用いて膨大なデータを高速で処理できる。だが、AIは既存しているデータに基づいて分析することに対し、人間は偶然性や将来の変化に対応していく進化する力を持つため、AIやIoTは人間の作業能力をサポートする手段の一つだと考えられる。

AI・IoTをうまく使い進化させるには、知能が高い判断力のある人間が必要だと思う。



機械加工工場の出入り口ホール

5月16日(木) 【5日目】

今日は高速道路を使っても片道5時間の長距離移動になります。早朝に出発するためバスの中で朝食を取る長旅の開始となりました。

レポートは(株)清水設計事務所 清水社長にお願いいたしました。

ギレンスヴァンス・モブラー社見学レポート

株式会社 清水設計事務所 代表取締役 清水 俊純

スウェーデンの首都ストックホルムより南西へ400km弱、途中食事休憩をはさみつつ5時間ほどバスに揺られながら、レギンスヴァンス・モブラー社を訪れました。

ほとんどの日本人が知らないであろうこの会社は、組立家具のIKEAの書棚BILLYシリーズをメインに製造しているB to B企業です。IKEA社とは67年の取引実績があり、現在の取引先は100%IKEAです。

しかしながら72年間の社歴において一度も赤字決算を出したことはなく、またIKEAの資本投資を受けた事も無いそうです。世界中にあるIKEAの製品を製造している工場の中でもベスト10に入る規模の設備、生産量を誇る工場ですが、これまですべて自己資本のみでまかっています。客観的な数字や概要は<https://www.gyllensvaan.se/>に譲りますが工場を見学して合理的だと思う点がいくつかありました。

- ・板の規格がJISと違い一枚が大きい
これは家具の様な大きな製品においては板取のし易さや歩留まりの向上に有効と思われます。
- ・自動化が進んでおり人が殆どいない
これは人件費が高くこれを抑えたい企業と、生活できる分以上は働きたくない労働者の思惑が合致した結果と思われます。

所得税は累進性で働くほどより多く課税される事を嫌う国民性がある様で、医師など時間単価が高い職に就いている人は、高額な報酬より就労時間を短くして自由な時間を得る事を選ぶとの事でした。

ほかにも従業員とBOSSの距離感が近い、日々の生産量を平滑化する方法、IKEAとの取引が無くなった場合の対処法等いろいろ実際に見て「なるほどな」と納得できた興味深い話を聞かせていただきました。



工場内の設備を視察



ギレンスヴァンス・モブラー社の前にて

5月17日(金)・18日(土) 【6日目・7日目】

現地時間 17日、ヘルシンキ発17:20の飛行機に搭乗し、18日の朝、8:30全員無事に関西国際空港に到着。

今回の視察研修は、出発してから帰国するまで、天候に恵まれて爽やかな北欧を視察することができました。

コペンハーゲン市内を移動するとき、車窓から見えた景色は、旧市街は歴史を感じる石造りの建造物、新市街地は近代的な建物が次々と建てられており、全体的にもきれいな街並みでした。



デンマークの鉄道：自転車持込みOK



世界遺産：ドロットニングホルム宮殿

スウェーデンは市街地を外れると建物も人もまばらになり、人口の少なさと、国土の広さを実感することができました。主に南部の方は平地が多く大陸を感じる風景が続いていましたが、中部・北部は険しい山が続いているとのことでした。

今回の視察にご参加くださいました皆様には、行程をスムーズに進めるために色々のご協力を賜り、事務局よりお礼申し上げますとともに、次回、視察へのご参加をお待ちしております。

北欧視察研修 総括

団長 金井 宏彰(兵庫工業会 副会長)

昨年実施予定で台風21号被害により延期になっておりました北欧海外視察研修事業を遂行いたしました。

18名の参加の下、北欧を代表するスウェーデン・デンマークにおいてものづくり企業3社とノーベル賞受賞式会場を初めとする、文化・歴史遺産を訪問し、非常に国民意識の高い先端社会を垣間見ることができ日本の将来の進むべき道や企業活動など学ぶところも多かったと感じています。

人口的にも国土としても決して大国とは言えない国々ですが、国民と国家が一体となり将来の自国の進むべき方向性をしっかりと共有し、負担とサービス(give&take)をうまく両立させている点に感嘆しました。

国が目指す国家像が明確で、抱える国家課題(たとえば、原発や環境問題、雇用問題と難民問題、高い税制と福祉・教育サービスなど)を解決するための施策に国民全体で一致したベクトルで生活している姿が明確に感じられました。環境問題などは脱自動車の方角性が浸透し、国民は自転車モビリティ社会を構成しつつあります。出勤時は自転車でラッシュになるほど浸透しています。環境+健康を狙った総合的財政負担減の施策でもあります。

一方、国家財政と国民サービスを支える税金を捻出するために経済活動にもしっかりと方向性と長期的なビジョンを見ることができました。小国でありながら大国に対抗していくための他とは違った差別化・高付加価値化や優れた発想・デザインセンスなどなかなか真似をしても追いつけないセンスが多く感じられました。

ただ、労働時間が週に37時間という制限があり、基本的には残業をしない勤務体系で、勤務時間も個人で選定できるとのことです。ポリシーとして仕事とプライベートのバランスを考え、プライベートをより充実させるために働くという考えも明確です。そのためにも規模を追求するのではなく、一人当たりのGDPや生産性を高めるための方向性も明確に感じ取れました。

実際、今回訪問した生体認証埋め込みICバイオチップの「BIOHAX社」のようなスタートアップや「サンドピック社」「Gyllensvaans Möbler社」に見られる合理化・自動化などの技術面も国を挙げて先端技術・イノベーションを後押しする土壌は整っており、日本とは違い規制で縛られるということが少ない政策も功を奏しているように見受けられました。国家と国民が価値観を共有し個人を尊重しながらも国家全体の発展に寄与する姿勢に我が国もお手本にすべきところがあると感じた次第です。

最後になりましたが、今回の視察研修が滞りなく終了いたしましたのもご参加いただきました皆様絶大なるご支援とご協力の賜物と深く感謝しますとともに企画段階よりお世話になりました関係各位に御礼を申し上げ総括といたします。

是非次回にも多くの皆様にご興味・ご参加頂けるような計画をご提案したいと考えております。

協働水素株式会社

代 表 者 代表取締役 吉田 八左右
所 在 地 〒655-0037
兵庫県神戸市垂水区歌敷山
一丁目1番4号
T E L 090-9165-4325
F A X 078-707-7862
U R L <http://kyoudou-suiso.co.jp/>
資 本 金 200万円
従業員数 2名

■営業品目

水素エネルギー等の発電、利用に係わるハード・ソフトの開発、製造、販売事業

■事業内容

自然エネルギーの活用やCO₂の削減など地球環境に配慮し、水素を「つくる」、「使う」、「運ぶ」、「貯める」といった水素に係わる技術革新によって創造されたサービス・製品を提供します。具体的には、いつでもどこでも自由に使用可能でBCP対策にも役立つ燃料電池や、CO₂を発生させずに水素を製造する水素生成装置を販売しています。また風洞型風速通倍方式の風力発電設備を開発済みです。



シスメックス国際試薬株式会社

代 表 者 代表取締役社長 濱口 行雄
所 在 地 〒651-2271
兵庫県神戸市西区高塚台4-3-2
T E L 078-991-9504
F A X 078-991-9505
U R L <https://www.sysmex-irc.co.jp/>
資 本 金 30,000万円
従業員数 261名

■営業品目

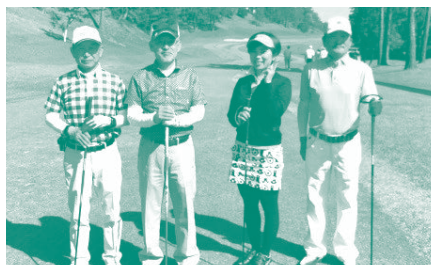
血液検査用試薬、血液凝固検査用試薬、免疫検査用試薬、ライフサイエンス試薬等

■事業内容

当社は2002年の設立以来、ヘルスケアテストング領域のリーディングカンパニー・シスメックス株式会社のグループ会社として、グローバルな診断薬製品供給体制の一翼を担っています。2019年4月にはシスメックス株式会社「テクノパーク イーストサイト」内の施設「バイオスクエア」に最新鋭の診断薬生産環境を構築し、高品質なバイオ診断薬の安定的な供給を高い生産性で実現いたします。



第15回 兵庫工業会 ゴルフ大会 2019



女子プロとのラウンド



ゴルフ大会表彰式の様子



男子プロによる質疑応答

5月11日(土)、美奈木ゴルフ倶楽部にて、第15回兵庫工業会ゴルフ大会を開催しました。今年は新入会員の方も多数参加していただき、組数も2組増で実施いたしました。(参加者：昨年12組35名から今年14組40名に増加)

朝から晴天の絶好のゴルフ日和の中、今年はハーフの9ホールを男子または女子プロとラウンドしていただく企画を実施して、懇親会でのプロによるゴルフレッスンと合わせて、皆様楽しくすごしていただけたようでした。

ダブルペリア方式による優勝者、他は以下の通りです。

☆優 勝☆	福田 孝 氏(株)福田博商店 代表取締役社長)	Gross 78(OUT38/IN40) NET 69.6
☆準 優 勝☆	増田 賢紀 氏(神鋼物流(株) 総務担当取締役)	
☆第 3 位☆	山本 博和 氏(山本電機製作所(株) 代表取締役社長)	
☆B B 賞☆	堂本 都光 氏(川崎重工業(株) 総務部 総務課)	
☆ベストプロ賞☆	露口 浩 氏(日清テクノス(株) 代表取締役社長)	Gross75

来年度も同様の企画を5月16日(土)美奈木ゴルフ倶楽部にて実施予定ですので、是非ともお申込みいただきたく、よろしくお願い申し上げます。



甲南設計工業株式会社

所在地：〒673-1232 兵庫県三木市吉川町金会1004-3
T E L：(0794)76-2788 F A X：(0794)76-2888
U R L：<http://www.konansk.co.jp/>
代表者：代表取締役社長 藤井 正典

この度は、兵庫工業会NEWSに記載させて頂き大変光栄に思います。

弊社は兵庫県西宮市で産声をあげて、兵庫県一筋で今日まで来まして今年で51期目に入ります会社で、主にプラスチック産業機械製造を生業としております。

〈Turning Point〉

兵庫工業会様には昨年、弊社創業50周年の際、兵庫県産業労働部様からの薦めもあり入会させて頂きました一年生でございます。

それまでは、従業員20名足らずの会社が工業会なんて、という思いで別世界のことと感じておりました。

入会のきっかけは兵庫県産業労働部様ですが、昨年創業50周年ということもあり、同時に私が社長に就任したこともあり、会社としても今回のタイトルでもある「変化に挑戦」でありました。

「変化」変わるというと漠然としていますが、どう変わるか、何に変わるか、何が変わるか、何に変えられるか、何に変えさせられるか、その変わる「何」は入会時には見えていませんでしたが、工業会に認めて頂いた会社になる、入会により社員の意識が変わる、いろんな会に出る、たくさんの人と会うことにより、会社としてもステージを変えられる、会社を取り巻く環境がステージを変えさせられるようになったと感じています。

〈Honesty & Passion〉

本業におきましても、近年発売を開始しました「切り屑の出ないプラスチック樹脂シートインライン追従式切断機」が、新聞では日本経済新聞、神戸新聞、日刊工業新聞、化学工業日報（敬称略）に記事として取り上げて頂きました。

コンテスト関係も「挑戦」のつもりで初めてエントリーさせて頂きました結果、本機が

「兵庫No.1ものづくり大賞技術部門、知事賞」（兵庫県）

「関西ものづくり新撰2019、エネルギー環境部門」（近畿経済産業局）

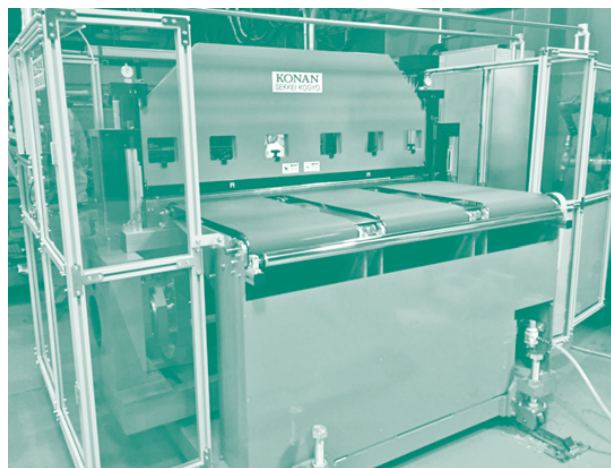
「中小企業優秀技術、新製品賞、優良賞」（中小企業庁、りそな、日刊工業新聞社）

プラスチックゴミが世界的に注目されていることもあると思いますが、光栄なことに三つも賞を頂くことになり、変化を求めた「挑戦」が大きな「変化」となりました。こういう受賞が無ければ絶対に会えない方にも何人も合わせて頂き、変わる「何」がこの一年で見えて来た様に思います。

具体的に問い合わせ数が変わり、それにつれて注文数も変わり、求人の応募も年配から若い人材に変わり、資金繰りが変わり、周りの見る目も変わり、何より社員のモチベーションが大きく変わりました。

それもこれも工業会、大西会長はじめ、工業会の皆様によくご指導いただいている賜物と感謝しております。

これからも弊社のビジョンでもあります「Make The World KONAN Style」に向かって挑戦し続け、少しでも社会のお役に立つことを目標に、それが企業として存在した証になると信じて、次の世代にバトンを渡すことが私の使命と考えます。



切り屑の出ないプラスチック樹脂シートインライン追従式切断機

夏のビッグイベント2019(予告)



兵庫県下4団体（公益社団法人兵庫工業会、公益財団法人ひょうご産業活性化センター、兵庫県中小企業団体中央会、一般社団法人関西ニュービジネス協議会）共催による「夏のビッグイベント」も、恒例行事としてすっかりおなじみとなり、18回目を迎えることになりました。

今年は、早稲田大学ビジネススクール 教授 平野 正雄先生をお招きして、「経営の針路 ～新時代に日本企業が目指すべきもの～」について講演を予定しています。

また、分科会では「ものづくり企業からおこす『コトづくり』」と題して、社会の中で新たなマーケットを開拓するにあたり、ニーズの前提となる「コトづくり」からかわるなど、「持続可能な開発目標 Sustainable Development Goals: SDGs」への取り組みが求められています。

事業活動にどのように取組み、導入していくかなど、分りやすい内容で夏のビックイベントをお届けします。今年も多くの方々のご参加をお待ちしております。

TEL▶078-361-5667 FAX▶078-371-4336

☆開催日 2019年8月29日(木) 13時～

☆開催場所 ホテルオークラ神戸

☆分科会 「ものづくり企業からおこす『コトづくり』」

☆基調講演者 「経営の針路 ～新時代に日本企業が目指すべきもの～」

早稲田大学 ビジネススクール 教授 平野 正雄 氏

！9月開催！

第37回

管 理 監 督 者 研 修

リーダーに求められるスキルは何か？ リーダーに求められるのは何か？
それぞれのキャリアで共通項もあれば、スキルアップが求められる事項など様々です。
これを『2階層別』に実施し、受講者それぞれのスキルアップを目指します。

■ 開催要項 ■

- 1) 会 場：加古川プラザホテル
- 2) 開催日：2019年9月13日(金) ～ 9月14日(土)
- 3) 定 員：80名
- 4) 参加費（兵庫工業会 会員価格）

申込人数	リーダー・係長クラス	管理職クラス
1名	37,800円	51,840円
2～4名	34,560円	49,680円
5名以上	32,400円	47,520円

※管理職クラスについては翌年2月7日(金)にフォローアップ研修あり

お問い合わせ・お申込み

公益社団法人 兵庫工業会 神戸事務所 TEL：078-361-5667 FAX：078-371-4336
〒650-0011 神戸市中央区下山手通6丁目3番28号 兵庫県中央労働センター3階
担当：川本 kawamoto@hyogo-ia.or.jp / 田辺 tanabe@hyogo-ia.or.jp

兵庫工業会 ホームページからもお申込みいただけます。

会 員 動 向

新入会員				
企 業 名	代 表 者 名		所 在 地	入 会 月
シスメックス国際試薬株式会社	代表取締役社長 濱口 行雄		神戸市	2019年4月
代表登録者変更				
企 業 名	新 代 表 者		旧 代 表 者	変 更 月
コベルコ教習所株式会社 明石教習センター	セ ン タ ー 長 土岐 吉輝		中村 省吾	2019年4月
阪神技術会	会 長 鐵橋 吉典		大石 哲夫	2019年4月
宮城県大阪事務所	所 長 豊嶋 潤		二階堂幸一	2019年4月
三菱電機株式会社 神戸製作所	総 務 部 長 高石 圭悟		中西 恭吏	2019年4月
山陽三菱電機販売株式会社	兵庫支社 取締役支社長 秋田 秀雄		安岡 孝浩	2019年4月
三菱重工業株式会社 神戸造船所	所 長 長屋 充		船戸 崇	2019年4月
中田エンジニアリング株式会社	代 表 取 締 役 小田 一平		内藤 定明	2019年4月
富士ゼロックス兵庫株式会社	代表取締役社長 根津 良彦		加藤 千晶	2019年4月
日本製鉄株式会社 鋼管事業部 尼崎製造所	所 長 小川 英範		衣笠 秀典	2019年4月
丹波市工業会	会 長 細見 博美		岡本 利樹	2019年6月
丹波市商工会	会 長 篠倉 庸良		大地 但	2019年6月
有限責任監査法人 トーマツ神戸事務所	事 務 所 長 千原 徹也		和田 朝喜	2019年6月
役職変更				
企 業 名	登 録 者	新 役 職 名	旧 役 職 名	変 更 月
広和株式会社市川工場	足立 知明	取締役工場長	工場長	2019年4月
株式会社カネカ	落合 計夫	常務執行役員	執行役員	2019年4月
株式会社アビノ	田中 昭夫	取締役会長	取締役社長	2019年4月
まねき食品株式会社	竹田 佑一	取締役会長	代表取締役社長	2019年4月
社名変更				
新 社 名	旧 社 名			変 更 月
日鉄テクノロジー株式会社 広畑事業所	日鉄住金テクノロジー株式会社 広畑事業所			2019年4月
日本製鉄株式会社 鋼管事業部 尼崎製造所	新日鐵住金株式会社 鋼管事業部 尼崎製造所			2019年4月
住所変更				
企 業 名	新 住 所			変 更 月
フルヤ工業株式会社	〒669-2211 兵庫県丹波篠山市大沢新110番地			2019年4月

イベント情報

月 日	事業名・内容	場 所
8月29日(木)	夏のビッグイベント2019	ホテルオークラ神戸
8月29日(木)	第2回理事会	ホテルオークラ神戸

夏期休業の お知らせ

本会では、誠に勝手ながら8月14日(水)～8月18日(日)まで、夏期休業といたします。(8月19日(月)より通常業務)。この間何かとご不便、ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

ご入会・セミナー・講演会・研修などのお問合せ・お申込みは…



公益社団法人
兵庫工業会

本 部
神戸事務所

〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通6丁目3番28号 兵庫県中央労働センター 3 階
TEL 078(361)5667 / FAX 078(371)4336 / Eメールアドレス mail@hyogo-ia.or.jp
URL <http://www.hyogo-ia.or.jp>

姫路事務所

〒670-0962 姫路市南駅前町123 じばさんびる 3 階
TEL 079(223)8230 / FAX 079(223)8231